

## 平成 26 年度 学校評価実施報告書

千葉県立柏中央高等学校

領域	自己評価の結果 (達成状況, 結果の分析)	改善方策 (自己評価の結果を踏まえた課題・改善の方向)
学 校 経 営	<p>① ホームページの更新頻度を上げ、学校の情報を積極的に保護者に伝えた。保護者向けメール配信も利用方法を工夫し頻度を上げた。昨年度登録者 73%に対し今年度は 85%になった。</p> <p>② 校内美化活動への取り組みについて、昨年度 78.7%に対し、今年度 61.4%に低下した。</p> <p>③ 安全点検を各学期に 2 回ずつ実施した。</p>	<p>① 高校のHPで中学生が最も興味を持つとされる部活動のページなどの更新を活性化する。また、メール配信については、行事開催の連絡なども含めてさらに活用する。</p> <p>② 校内美化活動は、生徒会や校内の組織体制を点検して活性化する</p> <p>③ 危険個所と修繕の区別をつけて、危険個所への対応を迅速にする。</p>
学 習 指 導	<p>① 生徒による授業評価を 1, 2 学期末に実施した。授業に関する教師への肯定評価の平均は 86.5%で、とくに「熱心に教えている」との回答率は 94%であった。</p> <p>② 学習意欲を引き出す指導や学力向上のための取組、わかり易い授業の工夫について、昨年度比較では生徒からの評価は 2%向上したが、職員の自己評価が 6%低下した。</p>	<p>① 学習指導について、生徒は教師の「熱心」さや工夫について好評価しているが、生徒自身による予習・復習への取り組み評価は 20~30%程度なので、今後各教科の授業で家庭学習の機会を確保するよう指導していく。</p> <p>② 職員の自省を生かして、今後、公開授業の積極的な参観や意見交換を促進する。</p>
生 徒 指 導	<p>① ルールやマナーを守る指導への評価が、職員、生徒、保護者ともに昨年度より上昇した。また、遅刻者が昨年のにさらに 3 分の 2 程度に減少し、遅刻防止指導の効果が顕著である。</p> <p>② 被害調査アンケートの毎学期実施や教育相談委員会などの毎月開催により情報交換を密に行い、きめ細かな関わりをとおして適切な対応・指導をした。</p> <p>③ インターネット掲示板への不適切な書き込みについて、指導を強化した。</p>	<p>① 校内活動においては、ルールやマナーがよく守られているが、校外では地域からの苦情もあり、マナーの良くない生徒もいる。次年度は、自律心を育てることを重視し校内外で適切な行動ができるよう指導する。</p> <p>② 全職員が、情報共有が必要な生徒について積極的に情報交換し合う雰囲気高める。</p> <p>③ 本校では、教科「情報」を 3 年次で履修するので、とくに新入生に対して、インターネットでの情報の取り扱いについて指導を徹底する。</p>
キ ャ リ ア 教 育	<p>① 職員の入れ替わりとともに意識が向上し、その結果、自己評価において「進路目標達成のための指導の充実」が 9%、「勤労観、職業観の育成の取組」が 6% 下降した。</p> <p>② 進路ガイダンスを外部講師を招聘して計画通り実施した。</p> <p>③ センター試験受験者が昨年の約 190 名から 230 名に増加し、さらに、平均得点も大幅に伸びた。</p>	<p>① とくに学力向上など進学指導への目標を段階的に具体化させて組織的に取り組む。</p> <p>② 保護者にも早めに連絡するなど参加しやすい工夫が必要である。</p> <p>③ AO や推薦入試に頼らずに難関を突破しようとする生徒を増やし、自信を持って進路選択ができるよう意欲を育んでいく。</p>
特 色 あ る 教 育 活 動	<p>① 体験学習に力を入れ、千葉大学などインターンシップの体験先を拡大した。また、体験参加をさらに強く推奨し、小学校での学習指導ボランティアなど昨年度より多くの生徒が体験活動に参加した。</p> <p>② 地域連携や福祉教育推進校としての行事を増やし、それに伴い生徒の参加数も増大した。より多くの一般職員の参加が課題である。</p>	<p>① 学力の向上促進とともに、社会化や自立に向けてさらに体験学習の機会も促し、生徒一人一人のより良い進路決定を図る。</p> <p>② 土日の行事が多いため一般職員の参加に限界があるが、全校での取組意識の向上につながるため、できるだけ振替などで対応し増やしていく。</p>

領域	学校関係者評価の結果	学校評価のまとめ
学校経営	<p>①ホームページが頻繁に更新されており、開くたびに新しい情報が入手できる。スクールメールの利用法も昨年度より慣れてきた。登録者が増加したのは、保護者の学校への期待が高まったからであり、様々な期待に応えるべくさらに努力して欲しい。</p> <p>②校内美化の職員の自己評価については、職員自身が満足するように頑張るって欲しい。</p> <p>③体育用具などの安全点検の結果は、すぐに修繕などに反映させていくことが大事である。</p>	<p>①学校からの情報発信については、HPの更新頻度が一層高まるなど今年度一層の努力が見られる。今後、学校からの文書が確実に保護者に届くよう、配付物をHPからダウンロードできるなどの工夫をする。</p> <p>②校内美化について、職員の取り組みが不十分と言わざるをえない。係・担当者だけに任せずに、職員全体で取り組む。</p> <p>③安全点検を実施したことで安心するのではなく、速やかなその後の処置に努める。</p>
学習指導	<p>①生徒による授業評価や学習指導評価は、概ね好ましい状況と言える。</p> <p>②生徒による学習指導の肯定評価は、平均して昨年 85.6%に対し、今年度 87.6%と 2%上昇したが、職員による評価は 84.3%から 77.1%と 7.2%下降した。この原因を探ることが重要である。</p>	<p>①生徒は、授業等の学習指導については全体的に好印象であるが、保護者には、わかり易い授業とは評価されていない。</p> <p>②職員自身が昨年度よりも満足していく指導ができていないと自省している。職員個々の問題と体制の問題があると思われ、次年度は、全職員で共通理解をもって学習指導に当たる。</p>
生徒指導	<p>①校内ではみんな真面目に生活しているようだが、校外では必ずしもそうではない。遅刻や欠席が極少であることは良いが、挨拶などがあまり聞こえないのが残念である。</p> <p>②生徒の人権に配慮してアンケートなどの実態調査などは今後も継続して欲しい。</p> <p>③社会的にもPCやスマートフォンを使用した犯罪が増えており、それらの指導の場を明確にして計画的に実施して欲しい。</p>	<p>①マナー指導は、外的にただ行動統制していくよりも、将来の目標に向けた意欲ある生活の中での指導の方がより効果的である。様々な場面で指導していく。</p> <p>②生徒の実態把握や、生徒自身の生活安全の確保のために「被害調査」は今後も毎学期実施する。</p> <p>③LHRや学年集会、全校集会でネット犯罪についてさらに指導する。</p>
キャリア教育	<p>①学力向上を図るために最も効果的なことは何か。予・復習などの家庭学習の習慣化や考查時の目標成績、体験学習への参加など、定めた小目標の達成をとおして自信をつけさせることが大事ではないか。</p> <p>②ガイダンス開催等は、広報の意味でも参加希望の有無に拘わらず保護者にも連絡するべきである。</p> <p>③進学の手段は人それぞれなので、一概に推薦入試も悪いとは言えないと思うが、実力をつけさせる上では障害になるのもわかる。</p>	<p>①家庭学習の習慣化を図り、考查や、授業の取り組みなどで目標を設定させ、一つずつ達成することによって意欲の向上につないでいく。</p> <p>②できるだけ早期に、マメールなども利用して保護者に知らせる。</p> <p>③推薦入試受験の奨励の仕方について、安易な受験方法としての選択とならないように指導を工夫する。</p>
特色ある活教育	<p>①地域以外でも様々な場所での体験活動を取り入れており、生徒は良い機会に恵まれている。</p> <p>②職員の土日の出勤はたいへんだが、大勢でなくとも、いろいろな地域行事にはできるだけ顔を出して欲しい。</p>	<p>①今後も、体験活動の場の拡大に努める。</p> <p>②いつも同じ職員だけに参加させるのではなく、できるだけいろいろな職員に参加させて、全校での取組として共通理解していく。</p>